

ひびき

教育目標：「なかよく かしこく たくましく」
3本柱：さわやか挨拶 聞き方・話し方名人 いきいき運動

多治見市立共栄小学校 H30.10.31

より良い社会をつくる「ひとり」に…、 そこで輝く「自分」に…、

秋も深まり、朝晩がめっきり寒くなってきました。子どもたちも私たち大人も体調には十分気をつけて過ごしていかなければいけないと思うこの頃です。

後期がスタートし、子どもたちも新たな気持ちで頑張る姿をたくさん見ることができま
す。先日の任命式では、新たに委員会の委員長になった子たちの力強い決意を聞き、たくま
しくなってきたなあとしみじみ感ずることができました。

子どもたちが経験する委員会活動にはとても大きな意味があると思っています。「より良
い共栄小学校にしていきたい。」そんな願いから、例えば生活委員では「気持ちの良いあい
さつをしよう。」と朝のあいさつ運動やお昼の放送を通して一生懸命呼びかけてくれていま
す。中学校や高校へいけば生徒会活動、社会へ出れば地域の自治活動や国の政治の主体者と
なって生きていくための大切な資質を磨いているのだと思います。1年生から6年生まで各
学級では、係活動で自分の役割をしっかりと果たすことで、仲間へ貢献し、自分も頑張って
良かったなという充実感を味わっている姿が見られます。これはある意味職業体験とも言え
ます。そんな体験を積み上げ、より良い社会の一員として輝く人（なかよく、かしこく、た
くましく生きる人）になって欲しいと強く願っています。

今年の甲子園を盛り上げた球児たちが、プロ野球のドラフトで指名を受けました。「プロ
になる」という夢を叶え、学生時代努力しドラフトで指名されたというだけでも本当にすご
いことです。一方、プロ野球界を去って行く人の平均年齢は、29歳くらいだそうです。夢
を叶えても、まだこれからプロ野球選手として生き抜くための試練が待っています。注目の
大阪桐蔭高校の根尾選手は「チームを勝利に導ける選手になりたい。」となりたい自分の姿
を語っていました。大切な事はプロ野球選手であろうと企業で働く人であろうと「どんな自
分」を目指して努力するかなんだらうなと思いました。輝き続けて欲しいと願います。

話はそれでしたが、子どもたちにも学校の活動を通して「どんな人（自分）になりたい
か？」を見つけて欲しいと強く思っています。大人は、いつも子どもにどんな人になりたい
のか問い続けたいですね。そう簡単に見つからないからこそ、「良さ」を誉め、本人が気づ
いていない「素晴らしさ」を教えてあげたいものです。